

緑内障治療は長い旅路

～緑内障治療とアドヒアランスについて考える～

日時：2023年10月8日(日) 17:30～18:30

会場：東京国際フォーラム ガラス棟6F G610 (第8会場)

座長



相原 一 先生
(東京大学)

人生100年時代と言われるようになり、目の健康寿命を延ばすことが注目されています。緑内障に関しても、その進行を軽減させることにより生涯視機能を維持したいものです。ご存じのように、緑内障は多くの病型があり、その診断と的確な治療法、そして長期に亘るアドヒアランスが重要です。そのなかで、自己点眼治療については、特に医療スタッフ全員で取り組まなければならない課題です。

今回のセミナーでは、点眼薬のアドヒアランスについて焦点を当てて、薬剤師と医師の立場からのご講演をいただくことにしました。

重松先生より、調剤薬局での手技調査を基に現状と課題に関して、また、谷戸先生より、緑内障点眼薬のアドヒアランス向上に向けての指導のコツについてご講演いただきます。「緑内障治療は長い旅路」のタイトルのように、患者さまとともに生涯長い旅路を歩めるよう、皆様と学びたいと思います。



講演1

「薬局薬剤師による点眼薬の手技調査」

重松 博美 先生 (そうごう薬局)



講演2

「緑内障点眼手技の問題点と指導のコツ」

谷戸 正樹 先生 (島根大学)



緑内障治療は長い旅路

～緑内障治療とアドヒアランスについて考える～



座長 相原 一 先生 (東京大学)

- 1989年 東京大学医学部医学科卒業眼科入局
- 1998年 東京大学大学院生化学細胞情報部門卒業 医学博士
- 1998年 東京大学医学部眼科 助手
- 2000年 カリフォルニア大学サンディエゴ校ハミルトン緑内障センター留学
- 2003年 東京大学医学部眼科 専任講師
- 2012年 東京大学医学部眼科 准教授
- 2012年 四谷しらと眼科 副院長
- 2014年 東京医科歯科大学医学部眼科 特任教授兼任
- 2015年 東京大学医学部眼科 教授



演者 重松 博美 先生 (そうごう薬局)

- 1990年 武庫川女子大学家政学部食物学科卒業
- 1990年 医療法人同心会 古賀総合病院栄養管理部入職
- 2004年 福岡大学薬学部製薬化学科卒業
- 2004年 総合メディカル株式会社入社
そうごう薬局 日向店配属
- 2011年 そうごう薬局 亀崎店配属



演者 谷戸 正樹 先生 (島根大学)

- 1996年 島根医科大学医学部卒業
- 1996年 島根医科大学医学部眼科 助手
- 1999年 京都大学大学院医学研究科特別研究学生
- 2003年 日本学術振興会特別研究員・京都大学ウイルス研究所 研究員
- 2004年 日本学術振興会特別研究員・オクラホマ大学ヘルスサイエンスセンター眼科 研究員
- 2006年 島根大学医学部眼科 講師
- 2014年 松江赤十字病院眼科部 部長
- 2018年 島根大学医学部眼科学講座 教授